

令和5年度 学校経営の改革方針

令和5年4月3日

学校名 鈴鹿市立栄小学校 校長名 山下 浩一

記述項目	記述内容
1 めざす 学校像	<p>学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳・知・体の調和のとれた豊かな人間性と、自ら学び合い周りの人と協力して行動できるたくましい力を持った子どもの育成 <p>めざす学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いを認め合い、自尊感情が高まる学校 <p>めざす子ども像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、表現する子・人を大切にする子・持つ力を出せる子・未来を思いえがく子 <p>めざす教師像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任感が強く、子どもの人格と個性を尊重した指導ができる教師 ・社会のニーズを把握し、探究心を持って、自主的に学び続ける教師 ・豊かな人間性や社会性を持ち、教職員同士や家庭・地域等との信頼関係を築く教師
2 経営方針	<p>【1】 家庭や地域とともにある学校づくり</p> <p>【2】 学び合う喜びや楽しみを感じることができる授業づくり</p> <p>【3】 仲間を大切に支え合う集団づくり</p> <p>【4】 自尊感情を高めることができ、自分自身が認められる場面づくり</p> <p>【5】 教職員が自らの成長を望み やりがいを感じられる職場づくり</p>
3 達成方策	<p>【1】 家庭や地域とともにある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を中心に家庭や地域と協働し、学校支援ボランティア、自治会等と連携して教育環境の充実を図る。 ・ホームページや学校だより等により、学校生活や行事等を積極的に発信する。 ・天栄中学校区の小中の連携した取組の充実を図る。 <p>【2】 学び合う喜びや楽しみを感じることができる授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが力を発揮し、つながり、共感し合う授業づくりに取り組む。 ・ICT 機器等を活用し、学び合う喜びやわかる楽しさを感じる授業づくりに取り組む。 ・学年や個々の発達段階に応じた学習規律や生活マナーを大切にした授業を確立する。 ・学力調査等の結果を分析し、継続した授業改善を進め、学力向上につなげる。 <p>【3】 仲間を大切に支え合う集団づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育や道徳、学級づくり等を通して、仲間を大切にする意識を高める。 ・仲間とよりよい関係づくりを通じて、いじめを許さない学級づくりに取り組む。 ・不登校傾向を示す子どもの状況を把握し、未然防止や早期対応等に取り組む。 ・子どもの個々に応じた支援体制を図り、具体的な支援に取り組む特別支援教育を進める。 <p>【4】 自尊感情を高めることができ、自分自身が認められる場面づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が、学級や学年の枠にとらわれず、一人ひとりの子どもたちの気持ちや考えを受け止め、安心感を与える。 ・表現する楽しさを感じ、目的を持って相手にうまく伝えようとする姿を評価する。 ・同学年や異学年との交流を通して、互いの考え、多様な考えを交流する場を設定する。 ・授業、行事等の学校生活や家庭生活を通して達成感を持ち、自分自身に自信を持たせる。 <p>【5】 教職員が自ら成長を望み やりがいを感じられる職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学調、みえスタ等の結果を基に、授業改善に向けた積極的に校内研修等へ取り組む。 ・教職員が互いに支え合い、メンタルヘルスに留意し、相談しやすい職場づくりに努める。 ・コンプライアンスの醸成に努め、信頼される学校づくりを推進する。 ・ICT 機器を有効に活用し、効率的に校務等を進め、ワークバランスの見直しを図り、総勤務時間縮減を図る。 ◆ 休暇取得（年間平均 22.0 日以上）、時間外労働時間年間 360 時間を超える職員ゼロ、時間外労働時間の昨年度比 5%削減、時間外労働月 45 時間超職員ゼロ、平均時間外労働時間 30 時間以下、定時退校日（月 2 日設定）退校職員 90%+自主定時退校日（月 2 日）、校内会議の短縮（1 時間以内割合 67%）、職員会議資料の前日までの配布